

保安レベルの維持向上への取組み (優良販売業者編)



株式会社ガスパル東北 代表取締役社長

伊藤 忠

1 はじめに

当社は、大東建託（東証・名証1部上場）のグループ会社であるガスパルが100%出資する会社であり、大東建託が建設するアパート・マンションのLPガス設備工事、LPガス販売を行っている。

ガスパルが持つ経営基盤と保安実践力を継承し、より地域に根ざした会社運営を実現すべく、2018年7月に分社化を行った。現在、東北本社ならびに岩手、北上、大崎、仙台東、仙台南、山形、福島、郡山、会津若松、いわきの10拠点に販売所を設け事業を展開している。

LPガスの供給を通して、保安の確保と従業員の働きがい追求し、お客様への上質なサービスを提供することで、豊かな社会の実現に貢献していく。

2 会社沿革

2018年 株式会社ガスパル東北設立

2019年 関東東北産業保安監督部より「ゴールド保安認定事業者（第一号認定液化石油ガス販売事業者）」に認定

3 表彰履歴

2019年 高圧ガス保安協会 会長表彰（優良販売業者）

4 保安に対する考え方・保安活動

ガスパルグループは、「先保後利。全従業員の働きがい追求し、保安を極め、豊かな社会の実現に貢献する。」という経営理念を定めている。これは、「お客様のためにまず保安があり、最上級の保安とサービスを提供することで、利益は後からついてくる。」という考え方であり、ガスパルグループ全社の経営の根幹としている。

この理念の背景には、ガスパルの過去の失敗がある。ガスパルは2006年に所管官庁の立入検査を受け、保安に係る業務を十分に行っていなかったことから一部営業停止という行政処分を受けた。会社の拡大に保安力が付いていかなかったことで、お客様、取引先、ひいては社会に多大なご迷惑をおかけしてしまった経験を教訓とし、「先行する保安力を身に付けなければ、いかなる販売行為も拡張政策も行わない。」ことを未来永劫変えることのない経営哲学としている。

当社のLPガス供給物件の主は大東建託が

建設する集合住宅である。グループメリットを活かして、物件の設計段階、施工段階から携わり、LP ガス設備に不備がないか管理・監督することで完璧な供給設備の構築に取り組んでいる。

当社が供給する集合住宅のLP ガス設備は、遠隔監視システムを100%設置している。ガスの使用状況に異常が発生した場合は、お客様からの連絡を待つことなく、警報受信情報を基に能動的に電話連絡、ガス止め、出勤をすることができる体制を整えている。そのため、一般消費者の早期の安全確保、万が一の被害拡大の防止を実現している。

また、IT 強化の一環として業務に係るすべての情報は社内システムにて一元管理を行っている。点検作業はモバイル端末を用いて実施し、その点検内容はネットワーク経由で直接システムに送信、保存される仕組みになっている。これにより、紙帳票の削減、業務の効率化、点検精度の向上を実現した。また、顧客情報をデジタル管理にしたことで、保安業務実施結果の確認や期限管理の運用に役立っている。

さらに、2019年2月よりグループ会社のアプリケーションと連携し、電磁的周知サービスを導入した。多様化するお客様のニーズに応え、消費者一人ひとりに合った効率的、かつ効果的な周知の実現を目指している。

東北地方特有の課題である雪害対策については、当社はほぼすべての供給設備を敷地内に設置された容器庫内に収納している。容器庫のスペースが十分取れない場合でも、屋根付容器スタンドを設置し、設備を収納してい

る。これにより、落雪の被害を受けないだけでなく、容器への固定が堅固になったことで、昨年度の相次ぐ台風や大雨洪水においても容器の流出はゼロであった。

5 今後の抱負

昨年10月の台風19号では東北地方も甚大な被害を受けた。特に宮城県南部、福島県中部、沿岸部においては、約470世帯のお客様が床上浸水の影響により、アパートの退去を余儀なくされた。自然災害は今後も増加することが予想されており、有事の際のリスクを認識し、備えていかなければならない。その一環として、岩手県、宮城県、山形県、福島県の各県に設置してある災害対応ユニット(供給設備にガス取り出し用のガス栓を設け、炊き出し器具やガス発電機等を備え付けたもの)を活用し、大東建託グループ合同による防災訓練を実施していくことで、有事の際の実践力向上と防災意識の高揚を図っていく。

「人の力が保安の力」。保安品質の向上のためには社員の成長が不可欠であると考えます。現在、当社は千葉県内に設けた研修センターにて、実物のガス設備を用いての実技訓練を行っている。今後は、さらなる実践力の向上を図るため、宮城県内に同等のセンター新設を計画している。

保安の追求に終わりはない。お客様の安全・安心を最優先事項とし、謙虚・慎重・細心の行動をもって、これからも完璧な保安業務を追求していく。

伊藤 忠 (いとう ただし)